



規則正しい生活で、家庭学習の効率化を! ～家庭で、『3つの時刻』を決めましょう～

校長 田畑 悦郎



令和6年度がスタートし、ひと月半がたちました。鶴田っ子たちは、4月の始業式以来、新しい環境にも慣れ、順調に学校生活を送っています。13人の元気な1年生も、小学校生活にすっかり溶け込み、94人全員がにこにこ笑顔で過ごしています。

たったひと月ただけですが、子どもたちの顔が、何となくたくましく見えてきました。二年生は、一年生が入学してきたことで、お兄さん・お姉さんの自覚が出てきています。6年生は最上級生、5年生も高学年ということで、委員会活動や縦割り班掃除のリーダーとして、さらにやる気を持って活動しています。

前置きが長くなってしまいましたが、『家庭学習のさせ方』で悩んでいらっしゃる保護者の皆様が多いと聞きます。子どもに家庭学習をさせる上で大切なことは、『起きる時刻・寝る時刻・家庭で学習を始める時刻、この3つの時刻を、親子で話し合ってしっかり決め、実行する。』ということに取り組むことが大事です。

＜ステップ1＞起床時刻を決める

学校へ着く時間から逆算して、起床時間を決めましょう。『通学時間 + (プラス) 起きてから家を出るまでにかかる時間 (朝食・トイレ・身支度など)』を考えてみましょう。

＜ステップ2＞就寝時刻を決める

子どもに必要な睡眠時間を、先程決めた起床時刻から差し引いて、就寝時刻を決めましょう。「この時間までに寝ないと」というデッドラインを設けることで、集中力が高まります。

＜ステップ3＞家庭学習開始時刻を決める

就寝時刻が決まったら、家庭学習開始時刻を決めましょう。就寝時刻から逆算すると、学習開始時刻が決まります。

何時から、どこで勉強するかを決めて、毎日崩さず繰り返すことだけ意識すると、いつしかその他の生活時間を勉強時間に合わせて過ごすようになります。結果、これが継続へとつながり、挫折や自然消滅を防ぐ事になります。

また、「家庭学習終了時刻」はあえて決めず、気分がのった日はたくさん勉強して、疲れているときは早めに切り上げるようにしましょう。疲れて集中力が落ちているのに無理に机に向かって、学習時間だけを積み重ねても、あまり意味はありません。ただし、疲れていても決まった時間に勉強を開始し、できるところまでがんばってみるのが大切なのです。



CS

TSURUDA

発行先 さつま町立鶴田小学校運営協議会

あいさつは”絆”を深める大チャンス!

「地域との”絆”深める鶴田小」

これは、鶴田小コミュニティ・スクールのキャッチフレーズです。先日、開催されたコミュニティ・スクールinさつまの中で、参加者の方から、「校区の子供たちに簡単に声をかけづらい。あいさつを返してくれない子もいる。」と話がありました。

本校児童は、学校内で呼名あいさつができ、多くの方々にすてきなあいさつができますねとよく褒められます。しかし、地域ではどうなのだろうとふと考えさせられる一コマでした。これから学校と地域の”絆”をより深めるチャンスとして、学校、家庭・地域が一丸となり、あいさつのできる鶴田っ子を育てていきましょう。



.....CS TSURUDA

スケッチ大会のテーマ決め!

学校周辺でスケッチ大会のテーマになりそうな場所へ出向き、写真を撮ってきました。撮影に協力していただいた地域の皆様、各事業所の皆様、快く撮影を許可していただき、本当にありがとうございました。子供たちの作品が完成したら、お持ちします。楽しみに待っていてください。

～撮影に協力いただいた地域の皆様～

牛舎(前田さん), JA.SSガソリンスタンド, 正岡モーターズ
だいわ鶴田店, あさくま浄化槽



.....CS TSURUDA

ありがたい電話!

「国道沿いに猿がいました。」

子供たちが危険だと思って、電話しました!。」

地域の方から猿出没の電話が入りました。教育総務課にも同時刻、電話が入っていました。下校しようとしていた子供たちへ猿と出会っても目を合わしたり、大声を出したりしないように注意し、出没場所へ確認に行きました。

今回、電話をいただき、子供たちは地域の方々からこんなにも守られているんだなと改めて感じる事ができました。

お電話をくださった方々、本当にありがとうございました。

鶴田小CS掲示板

5/15(水)の南日本新聞に「奥薩摩のホタルを守る会」の活動の様子が掲載されていました。職員室前の掲示板に設置してあります。今後、鶴田区、神子区、湯田区の記事やCSを生かした取組等を掲示していきます。

